

## 大学1年生1千人に調査

# 朝食とると英語もグー

朝ご飯を毎日食べる大学生は、そうでない大学生よりも英語の成績が良い。こんな研究成果を、岐阜大学地域科学部の牧秀樹・准教授(言語学)らのグループがまとめた。牧准教授は、朝ご飯の効用がうかがえるとして、来年以降も同様の調査を続け、朝食と学力の関連を詳しく分析するという。(高島靖賢)

大学で英語の講義を担当している牧准教授は、学生の英語力を伸ばす手段として朝ご飯に着目。朝ご飯を食べる子どもは学業が優れている、という教育関係者の指摘を確かめようと、学生とともに調べた。

07年4～7月、全国7大学の当時1年の学生約千人にアンケート。センター試験科目の英語(250点満点)で自己採点した点数と朝食の摂取状況について質問した。これと同時に、牧准教授が作った英文の聞き取りテスト(72点満点)をした。870人から有効回答を得た。

その結果、センター試験の平

## センター試験 プラス5点

■朝食摂取の習慣とテストの平均点  
(牧秀樹・岐阜大准教授らの調査による)

	センター試験の英語の平均点	聞き取りテストの平均点
朝食を毎日食べる学生	203.17	38.60
朝食を毎日食べない学生	197.88	36.84

均点は、朝食を毎日食べる学生の方が、そうでない学生よりも5・29点高かった。英文の聞き取りテストの平均点も同様に毎

日朝食を食べる学生の方が1・76点高かった(表参照)。

牧准教授は10月26日に韓国ソウルであった英語教育の学会

「国際Korea TESOL」で結果を発表した。牧准教授は「学会の出席者からは、調査を続けてさらに精度を上げてほしい」と反響があった。朝ご飯だけでなく、睡眠時間などほかの生活習慣との関連も調べてみたい」と話している。

今年8月、文部科学省が公表した今春実施の全国学力調査の結果でも、朝食を毎日食べる児童、生徒の方が正答率が高い傾向が見られた。

朝日新聞大阪本社版  
2008年11月16日(日)